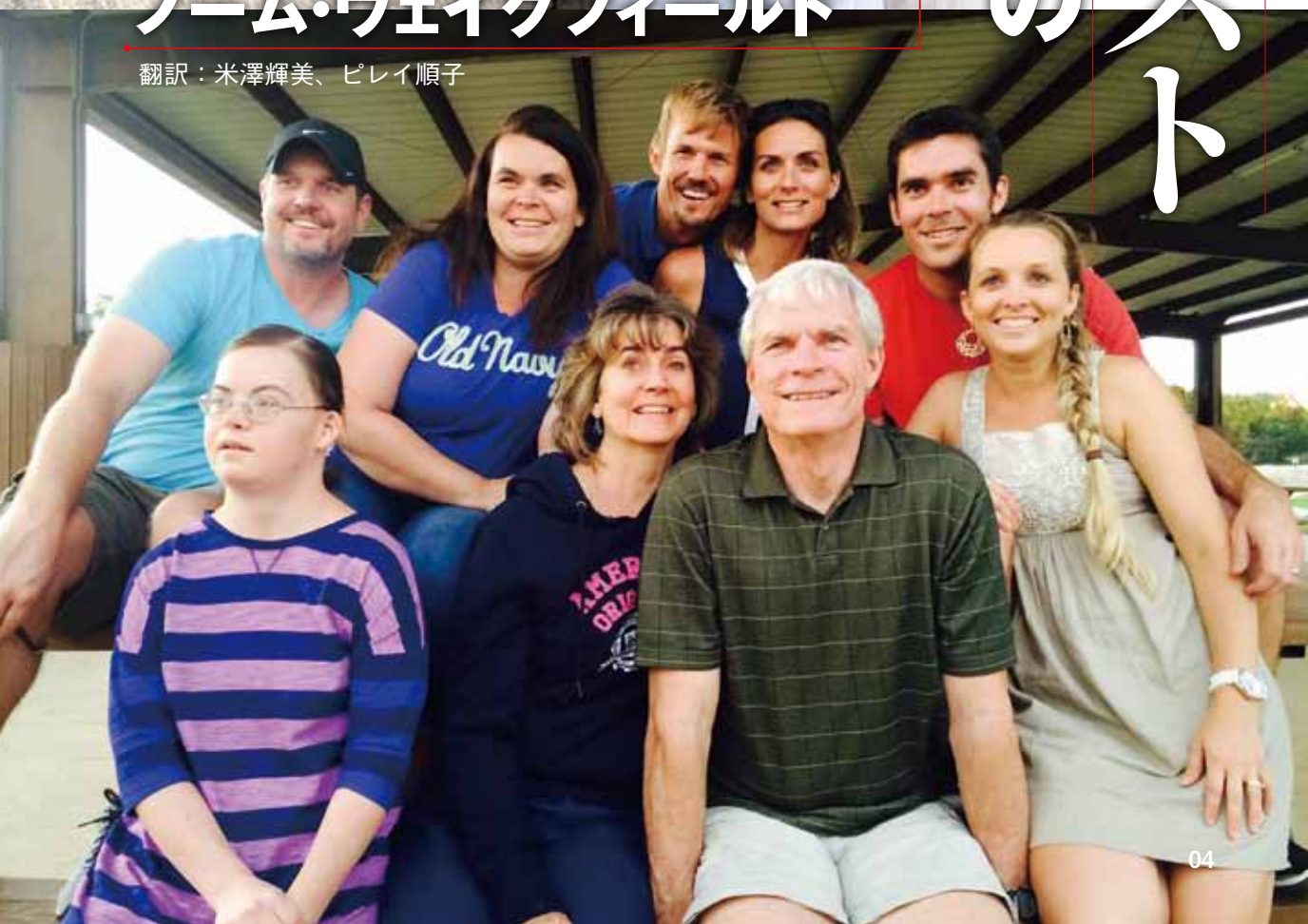


イエス・キリスト ホームスクーリングの 嵐の中で下ろす錨

ノーム・ウェイクフィールド

翻訳：米澤輝美、ピレイ順子



プロフィール

エリヤの霊ミニストリーズ創設者&代表。キリストと歩む4人の子どもたちを育て、17人の孫に恵まれる。1984年にホームスクーリングをスタートし、現在も孫をホームスクーリング中。神はノーム氏に、福音がいかに「きずな」を強めるか、人生の様々な局面に機能するかを教える賜物を与え、1992年以來、全米、世界各地で用いられている。2003年白馬セミナー、2004年大阪コンベンションに続き、11年ぶりの来日。ダウン症の娘、アマンダがスタッフとしてミニストリーを助けている。



ホームスクーリングをする中で、史上最大規模の震災に遭遇し、信仰が奪われ、岩に打ち付けられるような気持ちになったことはありませんか。親として、家族のリーダーとして、神に対する皆さんの信仰が次世代の基準となります。へブル人への手紙には、私たちがイエス・キリストを錨として生きるために必要なものを示す、時を越えた不変のメッセージがあります。

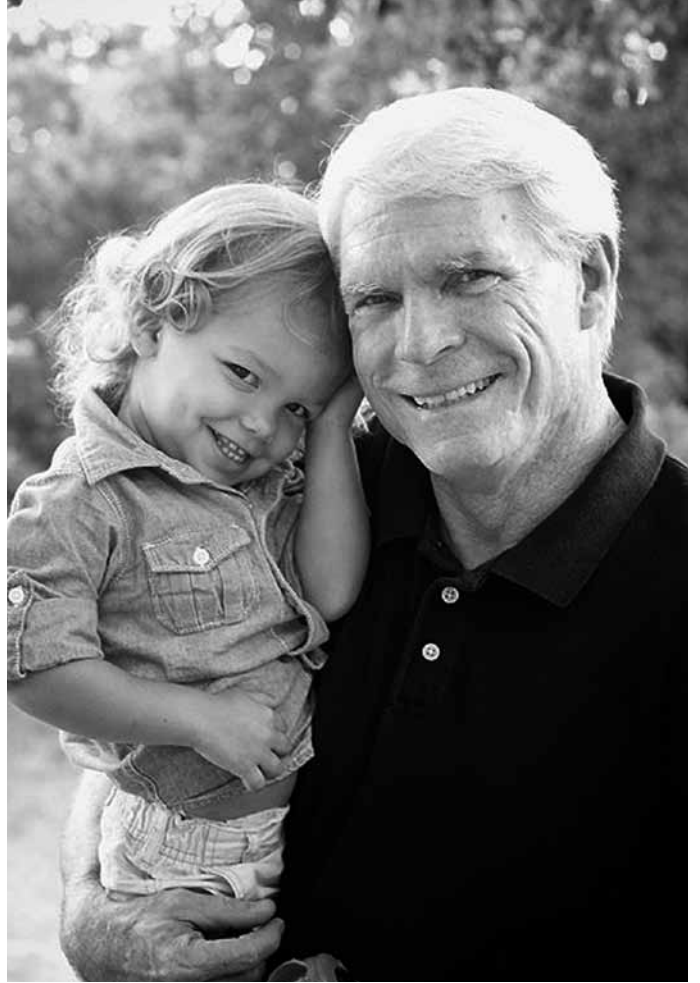
家族が人生の嵐に耐える時、親はその安定のための錨や砦となります。私たちの信仰は、影響力があり、揺るぎなく、活気に満ち、尽きないものであるべきです。私は若い人々もこの記事を読んでくれることを望みます。次の世代の来るべきリーダーとなるために、その基礎を築き上げる必要が

あるからです。10代は自身の信仰を建て上げ、信仰において成長し、神との関係を強める時期です。そして親である私たちに、その鍵が与えられています。

私たち親は安定の模範となるべきですが、しかし、時にはそついかない時もありますよね。自分たちが願うような信仰の砦になれないのには理由があります。その主な理由は、私たちが告白の重要性を理解していないからだとは考えます。

嵐は土台を明らかにする

誰もがそれぞれの土台を持って生きています。が、キリストの福音に対する姿勢が、その土台を



築いているとも言えます。福音が神の力であるとするならば（確かにそうなのですが）、福音という力強い土台は力強い生き方を生み出すはずです。しかし、嵐が吹き荒れるそんな時に、力の欠け、不足を感じるならば、本当に自分の人生の土台がキリストの福音に根ざしているのかどうか、考えてみる必要があります。

多くのクリスチャンは、キリストが自分の罪のために死んでくれたという福音を、ある程度知っているのですが、自分の人生は福音が土台になっていると思っていないのでしょうか。しかし、聖書は、私たちが何を聞いたかだけではなく、聞いたことをどう受け止め、どう実践するかが大切だと言います。

イエスは山上の垂訓でこのように言われています。

「だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い

人に比べることができません。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。また、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができません。雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもそれはひどい倒れ方でした。」（マタイ7:24-27）

イエスが明らかに重視したのは、聞いてそれを実行することであって、ただ単に聞いたことに同意することではありません。私は、30年を超えるカウンセリングの経験から、人生の嵐はその方の人生の土台を明らかにするということに気がきました。それが、人生に嵐が起る目的の1つです。イエスは私たちと一層の強いきずなを求め、手を差し伸べてくださっているということなのです。これは、死と裁きという最後で最大の震度7以上の激震や記録的な台風私たちが直面する前に、神さまが見ておられることに私たちも目を留めるための、神さまの良き計画です。さらに恵み深いことに、神さまは、多くの小さなレベルの嵐の中に私たちを置くことによって、私たちが日々、自分の告白通りに生きるための訓練をしてくださるので

ホームスクーリングという嵐

私たち家族がホームスクーリングの経験を積み始めた時、自分たちが一体何を始めたのかはまったく分かっていませんでした。おそらく、読者の皆さんの中にも我が家と同じような方々がおられるかもしれませんが、子どもたちをホームスクーリングする時、我が家は必死に嵐を避けようとしていました。既存の学校に通う親子が遭遇する多くの嵐は避けることはできませんでした。しかし、ホームスクーリングを続ける中で、子どもたちとの関係に加え、夫婦関係をもおびやかす多くの嵐が生まれることを体験していきました。

霊的負傷者

さらに、私たち親と神との関係が、子どもたちと神との関係に影響を与えるということに気付きました。子どもたちは、私たち親が彼らを教育しようとして試みる中で生まれる嵐に、どのように対応しているのかを見ていました。良い時期もあった一方で、親自身が揺れ、子どもたちを怯えさせたりする時期もありました。イエス・キリストとの関係がどれほど力強いものであるかを子どもたちに示すため、いかにイエス・キリストを自分たちのよりどころとしていくかを学ばなくてはなりません。

せんでした。

ホームスクーリングに霊的負傷者が出た場合の多くのケースは、両親の実生活の中で福音の力強さを示す模範を子どもたちが見なかつたためです。結果的に、福音は彼らにとって魅力的なものにならないのです。キリストに背を向けた子どもたちの結論はこうです。もし、福音が私たちの両親に人生の嵐を治める力を与えないというなら、なぜそれを自分が信じられるだろうか。つまり、私たち親の土台は、親の人生だけではなく、それぞれの子どもの人生にとっても重要なものなのです。

イエス・キリストについて 何と告白するか

皆さんはイエス・キリストについて何と告白すればよいか、よく理解され、またはよく知っておられますか。この質問に対しての皆さんの答えは、皆さんの信仰の土台を表すのでとても重要です。皆さんは自分が信じるものを土台として生きています。それ以外はただの宗教的な話に過ぎないかもしれません。皆さんは、自分の告白が聖書的でイエス・キリストにつ

いて重要な真実に根ざしている確信がありますか。

イエス・キリストが私たちの罪の赦し主であり、神であるという明白な告白は必要不可欠です。なぜなら、それはリーダーシップや交わりの土台となり確信となるものだからです。その告白通りに生きることは、どんな嵐も震災も切り抜けることができる、絶対的な保障となります。へブル人への手紙を読む時、イエス・キリストについて繰り返し報告された真実を見つめます。それは私たちの告白の土台となるものです。以下に、その一部を掲載します。これを暗記し、皆さんの日々の生活の中で活かしていただければと思います。

イエス・キリストは神の御子であり（1：1、2）、私たちの大祭司です（1：3、8：1）。

罪のきよめを成し遂げて、すぐれて高い所の
大能者の右の座に着かれ（1：3）、
私たちのためにとりなしておられ（7：25）、
その力あるみことばによって万物を保つて
おられます（1：3）。

彼は苦難、試練、誘惑から私たちを守り、
救われます（10：39、4：16）。

その憐れみと恵みによって（4：16）。
私たちが彼に近づき、自分の告白をしっかりと保
つならば、これらのことが起こります

（4：14、16、10：23）。

ホームスクーリングの嵐の中での固い岩

皆さんがこの告白について注意深く学ぶことを期待しています。主に関する聖句、真理はすべてが重要です。イエス・キリストについては、もっと多くのことが言えますが、上記の告白では、人生の嵐の只中で錨となる基本的な真理を多く含むようにしました。この告白に含まれているそれぞ
れの大変な真理を理解することは、大変価値のあることです。

チャ・コンベンションでは、「キリストに錨を下ろす」「ホームスクーリングの嵐の中での固い岩」を講演します。このメッセージでは、キリストへの告白に根ざして生きること、実践的な方法で毎日それを適用することを発見するでしょう。何を
知っているかではなく、その知ったことに対して何をするかが人生の嵐に恵みをもたらすことになり、そこに希望があります。



ノーム・ウェイク
フィールド氏の
講演予定



基調講演

1

ホームスクーリングの中で、 私たちを変える神の愛の力

The Transforming Power of God's Love in Homeschooling

互いに愛し合わなければならないことは周知の事実です。しかし、皆が、どのように実践するかを知っているわけではありません。教育と訓戒を施す愛のある環境を築くに当たって最も大きな障害物となるものは、偶像礼拝の心です。偶像礼拝とは、この世が与え、心を支配する、偽の神の愛のようなものです。このセッションでは、ノーム氏が、家族にとって最もチャレンジとなるゴールの1つ、愛の関係について実践的な洞察を与えてくれます。これらの真理によって、夫婦関係や親子関係が癒やされ、強められることでしょう。

基調講演

2

子どもをしつける時の 希望の力

The Power of Hope in Discipling your Children

自分の子どもたちの心をつかんでいる人は誰でしょうか。それは、子どもたちに一番多くの希望を与えた人です。それが「希望」の威力なのです。親は子どもたちに正しいことを教えます。しかし、重要で力強い希望を彼らの人生に育んでいくことを怠っています。その結果、起こってくることは、この世の基準や価値観に影響され、親の教えや聖書の価値観から外れるティーンたちを生み出すことです。子どもたちを訓戒しながら、どのように家庭を希望で満たしていくかを学びましょう。

分科会

1

家族に対する神の青写真

——家庭を基盤とした弟子訓練

God's Blueprint for the Family : Home-based Discipleship

次世代、3世代、4世代と続く、敬虔の遺産を築き上げたいと思いませんか。このセッションでは、主のために将来の世代を整え、準備させる、神のご計画を提示します。エリヤの霊、聖霊が、人の心を神に向けさせ、その妻、子どもたちに向けさせます。それは、次世代の人たちに、神と共に歩む備えをさせるためです。

分科会

2

イエス・キリスト

——人生の嵐の中で下ろす錨

Jesus Christ - The Anchor in the Storms of Life

自分の子どもを教育しようと努力する中で、史上最大規模の台風や大地震に遭遇したような気持ちになったことはありませんか。キリストに錨を下ろすことを学びましょう。そうすれば、あなたの行く手に何がやってこようともしっかりと立つことができ、子どもたちもしっかりと導くことができます。

分科会

3

聞く耳

——学習者としての基本

Ears to Hear : The Foundational Lesson for Learning

聞いているのに聞いていない、見ているのに見ていないことがあり得ることを知っていましたか。イエスはご自分の弟子たちに、もしこの教訓から学ばなければ、ご自分のすべての教えを理解することができないと言われました。聞くことは、学習するための技術です。イエスはそれを基本的な教訓として表現されました。もし、あなたが、聞き方を知らないのであれば、あなたと神との関係について騙されている危険があり、人生のあらゆる学びに向けて、準備不足です。



永遠の視点から行う クリスチャン家庭教育

Christian Home Education from an Eternal Perspective

それぞれが持つ世界観は、家庭教育や生活上の困難への反応はもちろんのこと、教育のあらゆる面に影響を与えます。神は、人生において永遠の視点を保ち続ける者に、召しに必要な恵みと力、天からの知恵を与えると定められました。永遠の視点から生き、教えられることについて神の言葉は何と言っているのでしょうか。このセッションは、皆さんを大いに励ますこととなるでしょう。地上で生きている間、天国での生き方について学び、子どもたちにも永遠の視点からの生き方を教えることができるようになります。

母としてティーンの息子たちと(あるいは自分の夫がティーンの息子のよう に振る舞う時)どう関わるか?

What's a Mom to Do with Teenage Sons <or husbands when they act like one?>

多くのホームスクーリングママたちが、息子たちとの間でしばしば起こる衝突で悲しんでいます。特に、息子たちのティーン時代に起こります。母親は、あの幼かった息子が父親に自分を重ね始め大人になっていく過渡期を、どのように扱えばいいのでしょうか。また、この時期の母親の役目は何でしょうか。指導しながらも、息子との関係を強めるために何ができるのでしょうか。その疑問などにお答えします。

親が子どもに語る 最も効果的な言葉

The Most Powerful Words a Parent can Say

人の心が聞くことのできる最も効果的な言葉は何でしょうか。このセッションの中で、「愛しているよ」と言うよりも、もっと効果的な言葉があることを知って驚かれるかもしれません。天の父の心と、旧約時代のすべての父たちに語られ、御子イエス・キリストを通して語られた力強く、効果的な言葉を示します。そして、子どもたちを教え訓戒する時に、どのように効果的にインパクトを与えることができるかについて、実践的なヒントが提供されます。